



かえでゆうびん 8月号

オリンピックが始まりました。先月まで開催を反対していた一人でしたが、いざ開催が決まるとスポーツ大好き人間、奥にしまっておいたスポーツ魂が呼び起こされ、毎日TV前での観戦で興奮し、いつしか日課になりそうです。やはり一流のアスリート。技量だけではなく、柔道の選手には道徳の教科書にも起用されるようなお辞儀をされる選手がいらっしゃったり、金メダル獲得後も相手への礼節を忘れず頑張りやを称えたり、勝敗だけではなく大切な礼儀や相手に対する思いなど手本となる様子が見られました。

今回の開催の判断はやはり経済効果を見込んで、できるだけ損失の少なくなる方法を進められました。その代償としてあれよあれよという間に感染拡大が止められない状況になってしまいました。

東京だけでなくどの地域も全て緩んでしまっています。この連休は必要だったでしょうか・・・

そもそも祝日を移動する理由はお祭り行事だからでしょうか？7月の22日は「海の日」「スポーツの日」そして土曜・日曜と4連休・世の中の人にとって夏休みやお盆休みの他に連休が夏に入るのは異例のことで、オリンピックに合わせて休みを移動させる必要があったのか？と思いました。また、1年延期をしたのに東京2020となり2021にはならなかったのはIOCの考えだったのでしょうか？

もともとある日本の祝日の意味がどんどん曖昧になり本来の意味が消えてしまいそうな感じもします。そうも思いながらもTVでのオリンピックを楽しみながら、感染拡大していくのを何とか止めていく。これからしばらくの課題となりそうです。

この状況を自分のこととしてとらえお盆や休日は、できれば県をまたいでの遠出やUSJ等人流の多い箇所は避けていただき、山や川・海など空気の入替わる場所で自然を体験するような遊びを選んで家族で過ごしてほしいと思います。

9月に皆が感染症に脅かされ通常の生活ができなくなるような状況は避けたいです。特にワクチン接種ができない乳幼児は感染の可能性は極めて高いです。大人の考え方ひとつで子どもの環境が危険か安心か決まります。これくらいなら・・・随分出かけていないから・・・と考えるより今は安心安全の環境を考える。命の安全を確保しようで行動してほしいと心の底から願っています。

今後、園としてはできるだけ早くに通常の園生活にもどしたいと考えています。園庭だけでなく園内にも入室をして、子どもたちの生活ぶりを見ていただく日が一日も早く来てくれること。それには微力ながら一人ひとりが「感染しない。させない」の気持ちで生活してほしいと思います。

10日から17日までの夏季保育も無理を言って協力いただいておりますが、保育現場の職員の体調管理も見ながら保育を進めていきます。今年は特別ですが、この時期を使ってワクチン接種を行います。若い先生は副反応で通常の保育ができない場合も考え、この時期で協力いただきやすい日を選んでいきます。今一度、今後、元気に保育を進めていけるよう夏季休暇の家庭保育を協力いただきたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

8月は夏ならではの遊びも入れていきます。

先日配布いたしましたお便りを見てご準備ください。

ただ、感染症対策として泥遊びや色水遊び後の衣服の洗濯ができません。

軽く汚れを落としてのお返しになりますのでご了承ください。

これからもできないではなく、できることを思いっきり楽しみます。

オジギソウの花



トウモロコシ

毎日暑い日が続いています。子どもたちは元気に過ごしています。園庭には暑さ・虫よけ対策を行い、職員は毎朝8時から「暑さ指数」を確認し、子どもの体調を見ながら、その日の遊ぶ時間をクラスごとに調整しています。

朝からひとしきり園庭で遊んだ子どもたちは汗を拭き、ニコニコ広場でひやりんを飲んでの水分補給、チーズをほおばりながらゆっくり休息を取り、暑い夏を自分たちで考えて過ごしています。遊びに夢中になり忘れがちな子どもたちには、定期的に声掛けをしています。また小さな子どもたちには木陰で保育者が「ひやりんは、いかがですか？」と遊びの途中でも一人ひとり確認しながら水分補給を促します。飲んだらまた、汗が吹き出しますが、しっかり汗をかいてその後はシャワーをして気持ちのよい一日を過ごしています。

東京オリンピックが始まりました。私は毎日テレビにくぎ付けになっています。特に開会式で行われた「ピクトグラム」のパフォーマンスを見た時にはこんなにもたくさんの競技があり、また多くの方がわかりやすいマークで表現されたものをパントマイムで表現しようと思ったことに感動しました。子どもたちとは新聞などを通して、日本だけでなく世界中の人々の活躍も知ることができればと思っています。

主幹保育教諭 藤森 寿美

梅雨からあつという間に夏の暑さがやってきましたね。今年は6月の終わりにせみの鳴く声を聞き夏の訪れを感じました。息をひそめて虫網をかまえる子どもたちのせみ探しや、2階のテラスから顔をのぞかせる向日葵など、かえで保育園にも暑く楽しい夏がやってきました。外の気温があがるにつれて、水に触れてあそぶ姿も増えています。子どもたちが指先や身体で“感じる”ことはもちろん、水滴や波打つ様子などみるみるうちに形を変える水の不思議さや面白さを視覚で楽しみ、ぼたぼたと滴り落ちる水の音に気付き、五感を働かせながらあそびを深めています。ふたばさんやつぼみさんは、かえで保育園に新しくやってきた水あそび用のたらいを使い、更に水あそびが盛り上がっているところです。園庭で思いきり楽しんだ後のシャワーはとても気持ちよさそうで、さっぱりとした表情でお部屋へと戻り、それぞれのあそびへと向かっています。

先日、ふとままごとコーナーに目を向けると、まるで出かけ先から慌てて家に帰ってきたお母さんのように、5人程のいぶきさんが忙しそうにしていました。赤ちゃんの人形を抱っこしていたり、お料理を作っていたりとそれぞれの役割を見つけて空間を共有することを楽しんでいるようでした。

そして15分ほど経った頃「そろそろご飯できたよ」という担任の声を聞いて片づけに取りかかります。「も～、たいへんたいへん！」「いったい誰がこんなにちらかしたのかしら」（自らあそんだ後です）「ちょっと待って！あともうちょっとで終わるわ」と大慌てで片づけ始めました。

布のコースターで机を拭き、椅子を拭き…。何しているの？と尋ねると「これ、消毒してるねん」と一言。念入りに消毒しているその姿に、“時代だなあ…”と感心してしまいました。

子どものあそびは大人の模倣から始まることも多いですが、その時代背景も大きく影響を与えているようです。制作ではスマートフォンを手作りし、カメラを撮る動作では液晶を見ながら

「はい、チーズ！」時代と共に子どもたちのあそびも変化していきますが、いつの時代も、日常の当たり前が子どもたちの手にかかると“楽しい”へと大変身を遂げます。まねっこ名人、そしておもしろいを見つける名人の子どもたち、日常が織り込まれたあそびの世界をこっそりとのぞかせてもらいながら、時代の流れや子どもを取り巻く環境について考えさせられたりもします。

副主幹保育教諭 河本彩奈

～めばえぐみ～

ねらい：「あつい、涼しい、気持ちいいを感じる」

う た：「こぶたぬきつねこ」「おもちゃのちゃちゃちゃ」

わらべうた：「イッポンパン」「ここはてっくび」「おふねがぎっちらこ」

本格的な夏がきました。午前中、暑い時間を避けて水遊びや泥遊び、氷遊びを進めています。水の感触、泥の感触、氷の感触それぞれの感触を楽しんでほしいと思います。子ども達は砂や泥の感触にも慣れてきて、歩いたりハイハイをしたりしながら、それぞれ自分の好きなところへ移動して遊んでいます。雨上がりの園庭にできた水たまりに自ら入っていき、泥んこになって遊んでいる姿が見られます。水道の蛇口から出ている水を不思議そうに触ったり、じゃぶじゃぶ池で流れる水を見たり、水や動いている物に興味を持っています。

“何か動いているぞ？”

めばえ組でサワガニのサワーズを飼っています。子ども達は、サワーズに興味津々です。餌やりをしているのを見つけると、必ず様子を見に行っています。そして、指をさし「あ、あ！」と言い、カニが動いている事を教えてくれます。園庭に出た時は、手を中に入れて触ろうとしてみたり、ジッと観察したりしています。さらに、かえで保育園では、幼児さん達がお世話をしているカメも飼っています。園庭に出てそのまま自分で歩いていき、カメの観察に出かける子どももいます。そして、「あ！う、う！」と言い指をさしながら動いていることを一生懸命伝えてくれます。さらに、カメがいる場所の近くで上を見て指をさして「あ、あ！」と何かを伝えてくれています。フェンスの上の方を指さし、蚊取り線香がありました。蚊取り線香の煙が動いていることを教えてくれています。子ども達は動いているものにとっても興味があり、動いていることをたくさん教えてくれます。これから、子どもたちの発見を一緒に見て共有していけるのが楽しみです。



“何が見える？”

保育室にトンネルを出しました。トンネルを見ると子どもたちはすぐにくぐって遊び始めました。最初はくぐって通り抜けた先にいる保育者を見つけ笑って遊んでいました。数日経つと、中から外が見えることに気づき途中で止まり外を覗き室内に居る保育者や、子どもたち同士で目が合うことを楽しんでいる様子見られるようになりました。さらに今では、トンネルの両側に立ち反対側にいる子どもや保育者と「ばあ！」と声だし『いないいないばあ』を楽しんでいます。そして、トンネルの中で遊んでいる友達を見つけると、“一緒に遊ぼう！”と隣に行き一緒に中から外を見て楽しんでいる様子も見られます。子どもたちがトンネルの中から見る室内は、いつもとは違ったものに見えるのかもしれないですね。



“担任の思い”

午前中園庭に出る前と、室内に入りシャワーをした後にこまめに水分補給をするようにしています。暑い時間を避け、短い時間園庭で水遊びや氷遊び、泥遊びを楽しんでいます。そして、室内でゆったり過ごす時間もつくるようにしています。午睡も睡眠時間が安定してきているので、少しはやめに入眠出来るようにしっかり休息もとれるようにしています。思いっきり遊び、しっかり休息をとり、楽しい園生活を過ごしてくれたら嬉しいです。

日笠 加菜・西田 汐里菜・小坂橋 円香

～ふたばぐみ～

ねらい：「自分でやってみようとする」「生き物や植物との関わりを楽しむ」

うた：「しゃぼんだま」「トマト」「とんでったバナナ」「オッタコオッタコ」「つつきましょう」

6月からみんなで育てていたモンシロチョウの幼虫がサナギを経て、無事ちょうちょになり飛び立ちました。お部屋の窓からみんなで送り出すと、想像以上に飛んでいくスピードが早く、あっという間に見えなくなっていました。力強い飛び方で遠くを目指すモンシロチョウの様に、暑い夏に負けずふたば組の子ども達も逞しく元気に育っていった欲しいと思います。また、青虫の観察を始めてから、お集まりで「はらぺこあおむし」の絵本や「キャベツの中から」の手遊びを取り入れています。かわいい姿が見れますので、ぜひご家庭でも子ども達と一緒に楽しんでみてください。

“ぺったん！野菜スタンプ”

夏が旬のピーマンやオクラ、他にもほうれん草、レンコン、にんじんなどたくさんの野菜を使ってスタンプ遊びをしました。初めてのスタンプ遊びに初めは不思議そうにしてい



た子どもたちですが、保育者がポンッとオクラでスタンプを押すと、アッと驚いた顔を見せてくれました。オクラの星形を見ると「きらきら～！」と嬉しそうにきらきらぼしの歌を口ずさんでいる子もいました。楽しいことはあっという間に伝わり「やりたい！」と手を伸ばして何度もぺったん！ぺったん！スタンプに挑戦していましたよ。一つの野菜で繰り返しスタンプをする子、色々な野菜を選ぶ子、赤黄青の3色すべて使う子、お気に入りの色を繰り返す子…それぞれの個性あふれるスタンプ遊びとなりました。育てているピーマンやパプリカもどんどん大きく、赤ちゃんサイズの物も増えてきました。毎日園庭に出ると「まだあかちゃん？」「どうぞ」と水やりをしてくれています。イエローパプリカが黄色くなるのはいつかな？どれくらい育つのかな？と来月の収穫をみんなで楽しみにしています。

“ひんやり、つめた～い！”

梅雨が明け、暑い夏がやってきました。元気いっぱい子ども達は、自分たちで涼しい木陰を見つけて休憩したり、水道で水を浴びたり、築山を走り回ったり、思い思いに初夏を満喫しています。そこで水が大好きなふたば組で、少しでも涼しく楽しめるよう氷遊びを行いました。製氷皿を利用した氷はみんなの小さな手にぴったりサイズで、「つめたっ！」「つるつる～」と触るだけで



なく、握りしめてみたり、お友達同士で手に乗せて見せ合ったりして楽しんでいました。氷の中に色とりどりの玩具を入れてみると、氷の感触の中に、固い凸凹した感触に気が付き何度もつついてみたり、溶けて出てきた表面を面白そうに触っていました。次は園庭にあるマスカットや葉っぱを入れてみようという計画です。また、桶での水遊びも始まります。熱中症対策でこれまでより園庭で遊ぶ時間は短くなりますが、室内でも夏の遊びを思いっきり楽しみます。

“担任の思い”

かえで保育園での生活をまとめたDVDはいかがでしたか？動画の中には、5月・6月の少しずつふたば組に慣れてきた頃の子供達を入れました。進級から数か月「この頃より走りが早くなっている」「にこにこ笑顔で過ごせている」「園庭にこんな場所があったのね」など様々な発見や成長を感じて頂けたのではないのでしょうか。8月は、これまでより更にダイナミックに水遊びや泡遊びにも取り組んでいきます。日々出来ることが増え、「やってみたい」の気持ちも強くなってくる子ども達の成長をこれからも保護者の方と一緒に見守っていきたく思います。

～つぼみぐみ～

ねらい：「夏の遊びを思い切り楽しむ」

うた：「うみ」「ありのうた」

7月初めは雨の日も続きましたが、子どもたちにとっては雨も嬉しいようで「あめいっぱいだ～！」と窓にぴったりとくっつき雨のしずくや水たまりを観察していました。時にゴロッと雷が鳴ると「うわあ～～」と大興奮！大人にとっては嫌な天候も子どもたちにとってはおもしろい不思議がいっぱいなようです。さあ、いよいよ夏がやってきます！太陽の下、夏の発見やおもしろさを身体いっぱい経験して遊びたいと思います。

～おおきくなったよ～

春に植えたオクラと、ひまわりはみんなのお世話もあってぐんぐん成長を続けました。園庭に出る前にはテラスに寄って、お水を上げながら「おおきなあれ！！」と声を掛けてあげることがすっかり日課となり、見下ろしていたはずの葉っぱは、いつの間にかみんなの身長を追い越してテラスの柵を越えんばかりに成長しました。オクラにも花が咲き小さな赤ちゃんオクラが次々とでき、収穫の日を待ちわびていました。

部屋でひまわりの絵本を見ていたこともあり、絵本と見比べながら今はこれくらい？もうちょっとかな？といつになったら花が咲くのか・・・ドキドキわくわくして待ちました。そして…いつものように2階に上がってきた子ども達は黄色く咲くひまわりを発見！！「わあ～！！さいたさいた！！」「えほんといっしょだね！」と大喜びでした。オクラは？と見てみると赤ちゃんオクラは手のひらくらいの大きさになっており、みんなで収穫も楽しみました。ひまわり、オクラ共に第1号は大成功でした！これから夏に向けさらにたくさんのひまわり、オクラが出来てくるのが楽しみです。

～ふしぎだな！？～

7月の室内遊びでは片栗粉粘土をして遊びました。片栗粉のどろどろとした感触に子どもたちはすぐに夢中になって楽しんでいました。両手で思い切り搦んだ！と思ってもすぐに溶けて手をすり抜けてしまう片栗粉。「なくなっちゃった！」と不思議そうな表情を見せていましたが「もういっかい！」と何度もタライに手を伸ばし、また手のひらいっぱい付いた片栗粉がまるでおばけのようで「おばけだぞ～」と友達と笑い合う姿もたくさん見られました。初めはそーっと触っていた子もいつの間にか足や腕にもついたり、タライの中に入って頭まで真っ白にしたりと体いっぱい片栗粉に触れて遊んでいました。今後も絵の具や泥、水遊び様々な感触遊びを楽しみたいと思います。



“担任の思い”

毎朝のお集りが日課となり、お集りの前には「きょうはこのえほんがいい！」とリクエストが出る事も多くなってきました。絵本が大好きな子どもたちですが、歌と手遊びも大好きで保育者の手の動きを真似したり、覚えた歌は遊びながら口ずさんだりする姿もたくさん見られています。保護者の方からも「家でもよく歌っている」と教えていただくことが増え、嬉しく思います。特に先月の「しりとりのうた」は歌詞の中に夏の物がたくさん登場するのですが、実際にスイカを食べたり、セミが鳴っていたりすると歌を歌いながら「おんなじだね！」と笑顔の子ども達。今後もたくさんの歌や手遊びに触れていきたいと思しますので、またご家庭でもかわいい姿がありましたら教えて下さい。

今井 奈沙 坪金 怜奈 小城 美紗

～いびきぐみ～

ねらい：「ともだちと一緒に夏のあそびをたのしむ」

うた：「うみ」「なみとかいから」「わにのうた」

ようやく長い梅雨が明け暑い夏がやってきました。セミの鳴き声を聞いた子どもたちは、どこでセミが鳴いているのか木の枝を見上げて探しています。また、朝顔の花を見つけて色水づくりを楽しみうすい青色、紫などいろんな色に変化していく様子をうれしそうに見せにきてくれました。8月は夏のあそびを思いきり楽しみたいと思います。

“にじみ絵”

絵の具あそびが大好きな子どもたち。障子紙を使ってにじみ絵を楽しみました。まずは、筆に水をつけて紙にぬるのですが…「なんで水つけるの？」と不思議そうにしながらも塗り始めると楽しくなり、グルグル円を描くように塗ったり、ぐにゃぐにゃと波のように



塗ったりして楽しんでいました。そして自分の好きな色をえらび、その上に絵の具を塗ると、じわじわと絵の具が広がっていきました。「うわ～きれい」「ひろがっていく」「ここもぬる」と、子どもたち。そしてちがう色を塗っていくと色が混ざり、変化していく様子もみれました。数日後、乾かしてできあがった紙を使って七夕の飾りをつくりました。はさみで切るところを教えてもらい一回、一回、確かめながら切る表情は真剣そのもの。できあがった飾りを大事そうにもって見せてくれる子どもたちの表情はとても、うれしそうでした。

“たのしいぎょうじ”

7月7日は七夕まつり、16日はそうめん流しがありました。七夕まつりでは、浴衣や甚平を着た子どもたちが少し照れ笑いしながらもかわいらしい姿を見せてくれました。そして、スライドで織り姫、彦星のはなしを聞いた



たり、暗くなった天井に星座を映し出し、天の川も見ることができました。最後は、みんなで一緒に盆踊りもしました。そうめん流しでは、袋に入ったそうめんを流してもらい手でつかみました。子どもたちは少々、緊張気味の表情をしながらも、まわりから「がんばれ」と応援されながら、流れてくるそうめんをぐとつかんでいました。手に取ると「よかった～とれた」という思いが伝わってくるような笑顔を見せてくれました。ランチルームでおいしくいただきました。



“担任の思い”

夏の行事では普段とはちがう子どもたちの表情をたくさん見ることができました。いつもとはちがう園の雰囲気になんかあるんだろうというワクワクした気持ち。終わった後に身体をはずませながら「たのしかった」「また明日もしたい」と言って笑顔を見せる子どもたち。幼い時のこの「楽しかった」という気持ちをたくさん積み重ねていき温かい思い出として記憶の中に残っていつまでもくれるよう、夏遊びを進めていきます。

星加 由美子・小寺 涼香・峰 夏音

～ひかりぐみ～

ねらい：「友達とイメージを共有しながら遊ぶ」「自分たちで考える」

うた：「うみ」「なみとかいから」「にじのむこうに」

7月の前半は雨の日が続き、室内で過ごすことが多かったように思います。梅雨もあけいいお天気の日には思いっきり水遊びや泥遊びを楽しむことが出来ました。だいちさんの遊びを真似て、「わたしもやってみよう！」「ほくも！」と一緒にダイナミックな遊びに挑戦することも多くなってきました。今月も夏だからこそ楽しめる遊びをたくさん経験していきたいと思います。

“歌に合わせて大変身”

朝のお集まりでは毎日元気いっぱいの歌声を聞かせてくれるひかりさん。先月は「ねっ せみさん」の歌に合わせて、自分のイメージするセミになりきり「み～んみんな♪」と歌うことを楽しんでいました。5月は「つばめになって」の歌に合わせてつばめに、6月は「あめふりくまのこ」の歌に合わせてくまに…。毎月楽しんでいる歌の歌詞に合わせて変身することが上手なひかり組の子どもたちです。子どもたちの歌う時の表情や仕草がいきいきとしていて、毎日の集いの時間が楽しみになっています。時には遊びながら、生活の中でも歌を口ずさみ、セミの真似をしている子どもたち。今月の歌もみんなで楽しみながら、そして遊びの中でも歌を楽しむ機会が増やせたらなと思っています。



“カブトムシのお世話”



カブトムシの幼虫が見事に成虫になったのは6月の終わり頃。

その後、毎日のようにカブトムシをじっくり観察していた子どもたちに、カブトムシのお世話をお願いしました。「ゼリーがなくなってるからあげないといけないよ」「おうちもきれいにしてあげよう」と毎日忙しそうに、そして楽しそうにお世話をしてくれています。そんなある日のこと、いつものように朝一番にカブトムシのお家をのぞき込んで観察していると…。「あれっ！

しろいたまごがある！」と小さな卵を見つけました。すぐに図鑑を持ってきてカブトムシの卵について調べてみました。キラキラした目で、真剣に図鑑を見つめる子ども達。「この卵、もう少し大きくなるまで土の中に入れておかなきゃいけないんだって」と調べた結果を友達同士で話し合い、しばらく様子を見ることにしました。これからこの卵やカブトムシがどうなっていくのか、わくわくしている子どもたちです。



“担任の思い”

7月中旬より暑い日が続く、水と触れ合う機会が増えてきて、スプリンクラーを出して冷たい水しぶきを楽しんだり、頭からお水のシャワーを浴びたり、暑い園庭で思いっきり水遊びを楽しむことができました。カブトムシのお世話や虫の観察、セミ探しなど自然に積極的に触れて遊ぶことも楽しんでいる子どもたち。夏の遊びを楽しむ中で、子どもたちのキラキラした笑顔がたくさん見られます。自ら不思議に思い、興味をもち、やってみたいことをたくさん見つけている姿を嬉しく思います。今月も心から楽しいと思える瞬間を大切に様々な遊びが経験出来るようにしていきたいです。

～だいちぐみ～

ねらい：「夏の遊びを工夫して楽しむ」「友だちのいいところを見つける」

うた：「うみ」「なみとかいがら」「ばなのおやこ」

暑い日々が続くようになり、園庭では色水や水路づくりなど、様々な水遊びを楽しむ姿が見られるようになってきました。「ひかり組のときにしていたことしたい！」など今までの経験を思い出しながら遊んだり、新しい遊び方を知って、長い時間集中して遊ぶこともあります。夏だからこそ楽しむことができる遊びを自分なりに工夫したり、意見を出し合い、遊ぶ機会を大切にしていきたいです。



“うめジュースづくり”

またまた峰農園から宅配便が届きました。なかにはたくさんの梅が！箱を開けた途端に香るにおいをかいで、「うわあ～。あまいにおい。」「おいしそう～。そのまま食べてみたいな。」など嬉しそうに話していました。そしてみんなでうめジュースを作ることになり、作り方を調べ、必要な材料を買ってきました。梅は10キロも入っていたので、作りやすいように重さを量って分けました。



氷砂糖と梅を交互に瓶に詰め終え、氷砂糖が解けるのをじっと観察していました。それから日がたった後も冷蔵庫から瓶を取り出して、くるくるとまわしたり、出来上がるのを楽しみにしながら様子を観察しています。

おいしいうめジュースができますように！



“ぜったい まけないぞ！”

お昼ごはんの前に、だいち組だけ残った園庭でリレーをすることが、子ども達の楽しみになっています。

はまグループ、かぜグループに分かれて行うのですが、毎回真剣勝負で、走る順番や作戦などグループごとに会議もしています。リレーをやり始めた頃は、負けると悔しくて、周りの友達を責めたり、泣いて怒ることもありましたが、何度も何度も繰り返し行うことで、「今日はあかんかった～。」「明日は負けないぞ！」



など気持ちを切り替える姿も見られるようになりました。

いま園庭でプームになっている逆上がりや鉄棒も、始めは「どうせできないから。」とあきらめてしまうこともありましたが、友だちが頑張っている様子を見て、一緒にチャレンジしたり、うまくいく方法を聞いたりしながら、何度も挑戦することで、たくさん増えてきました。いったいどこまで目指すの？と思うほど、頑張り続けるだいち組。これからも楽しみです。

“担任の思い”

7月に歌った「きっとできる」という歌は、去年のだいち組の子ども達も歌っていた歌で、歌う前からみんなが大好きな歌のひとつです。歌詞のなかに「失敗をおそれたら、なんにも始まらない」という言葉があるのですが、そのフレーズを歌いながら様々なことにチャレンジしていく姿がたくさん見られました。チャレンジしていたことが出来た時の子どもの笑顔はとてもキラキラしていて、子どもの力は無限大だと感じる日々です。8月では友だちの頑張っているところや、いいところを見つける機会をもっていきたいです。その中で互いに認め合ったり、一人一人の自信に繋がってほしいです。

～はま・かぜグループ～

～みんなで歌うと楽しいね～

毎日朝の集いが始まると元気な歌声が聞こえてきます。「しっぱいを～おそれたら～♪」この曲はだいち組の今月の歌ですが、歌声が聞こえるほうへ行くと、一番盛り上がるころの「明日もハイ！」をいぶき組の子どもも一緒になって手拍子をしたりジャンプをしたりしながら歌っています。自分のクラスの歌のみならず他クラスの歌も歌ってしまう子どもたち。軽快なリズムが楽しくてつい歌いたくなってしまうのでしょうか。幼児クラスが歌っていると乳児クラスの子もたちも「なんだか楽しそうだなあ」と言わんばかりにテラスにやってきます。

朝の集いが終わっても口ずさんでいることもしばしば。園庭で遊んでいるときも一人が歌いだすと他の子どもたちも歌いだして大合唱をしていることもあります。素敵な歌声が響いている幼児クラスです。



～泣かないで～

ある日の出来事です。園庭でいぶき組のAくんが友達とけんかをして泣いていました。そこへ、その様子に気付いたひかり組のB君がそばにやってきて言いました。「どうしたん？なにがあったん？僕が聞いてあげる。」その優しく寄り添うような言葉がA君に響き、「あのね、友達と遊びたかったのに、仲間に入れてもらえなかった。」と、なぜけんかが起きたのか、B君に素直に話しました。

話を聞いたB君は、けんかをしていた友達の所へ行き、A君の思いを代わりに伝えてあげました。すると「さっきは、いじわるなこと言ってごめんね」「ぼくの方こそごめんね。」と、重たい空気になった友達同士のけんかが、年上のお兄さんのお陰で仲直り。気付けば笑い合っって遊ぶいぶき組の様子を嬉しそうに見るB君は、とても輝いて見えました。

このような出来事を通して、子どもたち同士で問題を解決できる力を身につけ、子どもたちの仲がもっともっと深まって行ってほしいです。



“担任の思い”

友達と一緒に楽しむことや、イメージを共有する姿がよく見られます。自分の思いを伝え合うこと、相手の思いに寄り添おうとする姿も見られ嬉しく感じます。時には、上手くいかないこともあります。けんかをするのがいけないのではなく、自分の思いを素直に伝えることや、相手の気持ちに気づく経験をたくさんしていきながら、友達との関係が心地よいと感じたり、思いを受け止め合える仲間関係を築いたりして行けたらと思います。これからも子どもたち一人ひとりの思いを大切にしていきたいです。

小寺 涼香 峰 夏音

～職員からのメッセージ～



「りんごかもしれない」や、「おしっこちょっぴりもれたろう」などの絵本を描かれているヨシタケシンスケさんは、だいすきな絵本作家さんの一人です。おもしろい絵本もたくさんあるのですが、今回は絵本ではなく、大人が読んでおもしろいおすすめの本を紹介します。

「思わず考えちゃう」は何度も読み返すほど大好きな1冊です。日常に転がっている小さな出来事に子どもたちは「なんで？」「どうして？」とよく質問しますよね。大人になると忙しく過ぎてしまう毎日ですが少し立ち止まって感じたり、考えたりすることの大切さを教えてくれます。読み込むほどに、ヨシタケさんの世界に引き込まれ子どものようなまっすぐな心って素敵だな、忘れたくないなと感じました。かわいいイラストとエピソードにぜひほっこりしてほしいです。

林 奈津美

～お父さんからのメッセージ～

1人目が生まれた後から9カ月、2人目が生まれた後から2カ月、そして1歳を迎えてから5カ月の3回に分けて育児休暇を取得しました。育休の期間は、妻と一緒に3人で毎日過ごしていました。育休は1人目が生まれる前から考えており、取得に関しては迷うことなく職場に申請しました。いい顔はされませんでした。開き直って取得しました。

1人目の育休期間は世間的にも注目されており、新聞やテレビ等で度々特集が組まれていました。その中で紹介されていた記事に、今でも印象に残っているものがあります。オランダで働いている日本人の父親が、育休の相談をした時の上司の話です。「仕事を退職するとき、もっと仕事しておけばよかったと後悔する人間はいない。もっと家族と過ごしておけば良かったと後悔するものだ。」私はまだ退職を考える時期ではないのですが、こういう考えがあるのかと仕事と家族のバランスを考え直すきっかけとなりました。大多数の人にとって仕事は40年程度するものだと思います。その間に家族のために1～2年休むことは何も後ろめたいことではないと思うようにし、周りから何と思われようと育休を楽しもうと決めました。今思い出すと育休期間はあっという間に終わったと感じます。機会があれば今からでも、もう一度取りたいと思うくらい楽しく幸せな時間でした。

もし、これから取得できる機会があるお父さんがいらっしゃれば、ぜひ取得することをお勧めします。子どもの成長をずっとそばで見ることができたくさんの思い出を得ることができそうです。

保護者の方からのお話コーナー

最近絵を描くことにとっても興味を持っている息子。保育園での絵画の時間が楽しみで「次はいつ絵画の日？」とワクワクしています。

家でもスケッチブックにすごい集中力でモクモクと絵を描く姿がかわいいです。

ひかり組 まさこさん

言葉がなかなか出ませんでした。最近ようやくいろんなバリエーションが出てきました。お茶をこぼした時「ごめんなさいは？」と言うと本当に申し訳ない顔をして「…ごめんなさい」と言ってくれた時は嬉しくて愛おしかったです。

いぶき組 ゆうこさん

八百屋へ行ったときに温州みかんを買って食べたのがおいしかったようで、しばらく温州みかんの話ばかりしていました。八百屋で温州みかんがあったので買って帰ると「おいしいから食べてみ〜」と嬉しそうに話しながら食べていました。

だいち組 やすよさん

めばえ組で入園した日が最近の様に感じられる程、毎日過ぎていく日々が早く、娘の成長に母の私がついていけないですが、家で過ごしている時に担任の先生の名前を呼んだり、とても保育園が好きな様子です。楽しそうに登園する娘の姿が私の毎日の活力になっています。いつも大切に下さる園の方々に感謝の日々です。

ふたば組 なつみさん

どこで覚えてきたの?と思うような会話が沢山増え、日々面白いです。例えば、親が横になっていると「つめたくしないでー」と言ってきたり。

また、園での出来事を自ら話すことはありませんが、私が誰と遊んだの?と毎日聞いているうちに「〇〇ちゃんと〇〇したの〜」や「〇〇くんが〇〇ゆったあ」と報告してくれるようになりました。3歳になっても寝相が悪い息子よ、朝起きて、ヒヤヒヤする体勢もあるけれど…いつも楽しませてくれてありがとう!と伝えたい!

つぼみ組 きみさん

今年の4月に妹が入園しました。初めは泣いてばかり。その度に幼児のお部屋からお兄ちゃんが呼ばれ、妹をあやしてくれていたと先生から聞いていました。お兄ちゃんもついこの間まではよく泣いていたのに、頼もしくなったものだなと嬉しくなりました。

兄妹で保育園に通うのも、残り数か月となりました。毎日元気にニコニコ笑顔で過ごしてくれたらなと思います。

ふたば組・だいち組 りょうすけさん

☆お台所より☆

蝉の声が激しくなっていていき、本格的な夏がやってきました。梅雨が終わり、日中はますます日差しが強く照り付け、熱中症が怖くなってきました。暑い日差しに負けないように水分補給をしっかりと行い、旬の食材を取り入れて美味しく食欲がすすむごはん・おやつを作っていきます。また、まだまだ食中毒や感染症への注意が必要です。衛生管理をしっかりと行い、安全で安心できるごはん・おやつを作っていきます。

～7月の行事メニュー～

・七夕のメニューでは天の川をイメージしたちらし寿司を作りました。星形にくり抜いた人参やコーンをお星さまに見立て、綺麗な天の川が出来ました。おやつではさくらんぼが乗った七夕ゼリーを作りました。ゼリーの中のみかんが透けて見えお星さまのようで、子どもたちにも見た目が可愛いやさくらんぼが美味しいと好評でした。



・7月16日には流しそうめんを行いました。衛生対策や掴みやすさから、ゆがいたそうめんを袋に入れて流しました。袋に入ったそうめんを手でわしづかみにしたり、ひかり、だいち組はトングで器用に掴んだり、子どもたちは流しそうめんを思いっきり楽しんでいました。流し終わったそうめんを器に入れ、きゅうりやうすあげ・しいたけと一緒に美味しくいただきました。

・7月のお誕生日会のメニューはみんなが大好きな「ハンバーグ」を作りました。そして、誕生日ケーキではパフェ風ケーキに七夕で好評だったさくらんぼを乗せました。さくらんぼだけをおかわりする子どもも多く、たくさん食べてくれて嬉しかったです。

～8月の献立 旬の食材～

7月に引き続き、8月も夏野菜がさらに美味しくなる季節です。園庭で育てている野菜も収穫の時期を迎えつつあり、まるまると美味しそうに実っています。写真は園庭でのびのびと育ったピーマン・トマト・ゴーヤです。収穫が楽しみです。8月の旬の食材はゴーヤ・トマト・ブドウ・とうがん・枝豆などが登場します。

8月の献立ではとうがんを使った「とうがんスープ」やデザートやおやつではぶどうのデラウェアや巨峰が登場します。ゴーヤチャンプルは7月に引き続き登場します。7月に作った時よりもゴーヤを増やして再チャレンジです！





★お願い★

- *7月から9月にかけて職員が休暇を取ります。
- *コロナワクチン接種による体調不良で職員が急遽休む場合があります。保育が手薄にならないよう配置していきます。
- *8月2日(月)～13日(火)
関西学院大学実習生2名が来られます
8月23日(月)～9月2日(木)
甲子園短大実習生1名が来られます。
- ・8月4・5・10・11・12の5日間高校生のインターンシップの体験に1名来られます。
- ・8月26日高校生が保育体験に2名来られます。

こんなことしたよ♪

毎年恒例のそうめん流しをしました。
七夕の時に松秀幼稚園から頂いた竹を使い、割った竹はだいちぐみが紙やすりをかけました。つぼみ組、いぶき組は手づかみで、ひかり組だいち組は Tongue で袋に入ったそうめんを掴みました。だいち組は超急斜面で早く流れるそうめんを素早く取っていました。目をつぶって掴もうと挑戦する子もいました。



今年は同園会の日程が変更となりましたが無事行うことができました。毎年恒例の貝殻アートや久しぶりに会う友だちとかえで保育園で過ごした思い出話で盛り上がっていました。家庭保育のご協力ありがとうございました。また、毎年恒例になりましたが武田さん橋本さんに楽しい貝殻アートを企画頂きました。ありがとうございました。



- ・緊急事態宣言が解除されましたがまだ感染拡大の兆しがあります。感染症防止対策を緩めることなく生活していきます。
- ・日々の体調管理を重視し、保護者の方の仕事がお休みの場合は家庭保育をしてください。また休暇・自宅での仕事の場合は必ずお知らせください。
- ・降園時、間隔を空けてお待ちいただいておりますが道路にはみ出し、長い立ち話をご遠慮ください。
- ・お子さまの清潔を保つためにシャワーをしています。毎日身体拭きタオルの持参をお願いします。必ず、袋・タオルに名前を書いてください。また、水遊びや泥あそびをすることが多くなります。パンツを含め、多めに着替えの用意をお願いします。
- ・先日、夏遊びのおしらせとおねがいを配布しています。ご確認の上忘れ物のないようご準備下さい。(つぼみ組は水着の用意はいりません)
- ・幼児パンツの貸し出しはありません。不足の時は買い取りとなります。次月の諸費で請求させて頂きます(1枚300円)。

8月の予定

感染症の状況で中止する場合があります

- *8月10日～17日 夏季保育
- ・1号認定の方はお休みとなります。
- ・できるだけ家庭保育にご協力をお願いします。
- *5・19・26日(木) 体操
※12日(木)はありません。
- *20日(火)、30日(金) 絵画
- *27日(金) 誕生会
- *30日(月) 月例健診

9月の予定

- *28日(火) クラルテ人形劇